

教育学演習Ⅰ

科目ナンバリング SEM-301

必修 2単位

田崎 教子

1. 授業の概要(ねらい)

個々のもつ音楽的知識と演奏技能の向上を図るため、音楽分野におけるスペシャリストを招き、音楽の実践者としてのノウハウを学ぶ。それらの知識と技能を十分に生かした音楽プログラムを考案し、実施する。幼児・児童を主な対象者として鑑賞型と参加型の両方を包含した音楽プログラムを企画し実施する。

また、この活動を通じた実践研究や、個々の興味・関心に基づいたテーマで調査、研究し、その成果を発表し討議する。

2. 授業の到達目標

集団によるアクティブな活動の中で、音楽の本質的な特徴や効果等を体感し、様々な現場における音楽活動のあり方について、理論的・実践的理解を目指す。

研究テーマの設定、研究の方法、研究の内容等を吟味しながら資料を作成し研究発表等を通して、音楽に対する多角的な見方・考え方を養う。

3. 成績評価の方法および基準

- ①実技・演奏 60%
- ②研究発表 30%
- ③提出物 10%

これらを基に総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

参考文献

下川英子著 『統合保育・教育現場に応用する 音楽療法・音あそび』 音楽之友社

高山仁著 『「生きる力」をはぐくむ音楽活動 みんなで音楽』 音楽之友社

田崎教子著 『音楽的活動における保育者の発信的・応答的能力の向上―クリニカル・ミュージシャンシップ援用の可能性―』 風間書房

5. 準備学修の内容

- ・個々の音楽的知識・演奏技能の向上を目指し、日々の努力を怠らないこと。
- ・演奏会実施に向けての話し合い、練習、準備、本番をトータルに捉え、積極的に参加すること。
- ・個々の研究テーマにおける情報収集は日頃から行い、研究に対する視点をもつこと。

6. その他履修上の注意事項

- ・集団による音楽活動では、協調性をもち、最後まで自分の役割に責任をもって臨むこと。
- ・テーマに沿ったグループ研究では、個々の独自性を発揮して質の高い研究になるよう努力すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 授業ガイダンス、演奏披露発表
- 【第2回】 研究に関する基礎知識
- 【第3回】 プログラムの検討①
- 【第4回】 ゲストティーチャーによるワークショップ
- 【第5回】 ワークショップの振り返り
プログラム の検討②
- 【第6回】 プログラムの準備①
- 【第7回】 プログラムの準備②
- 【第8回】 プログラムの練習①
- 【第9回】 プログラムの練習②
- 【第10回】 プログラムの練習③
- 【第11回】 プログラムの練習④
- 【第12回】 プログラムの練習⑤
- 【第13回】 研究テーマに基づく中間発表①
- 【第14回】 研究テーマに基づく中間発表②
- 【第15回】 演奏発表・研究のまとめ